

バランスシート（平成17年3月31日現在）

借 方

資金の使い道の内容

資 産 の 部 将来に引き継ぐ財産

市庁舎、市民文化会館等	1. 有形固定資産（※1）	740億 1 千万円（概数）
保育所、北部老人福祉総合エリア等	（1）総務費	28億 8 千万円（4%）
墓園整備等	（2）民生費	64億 円（8%）
勤労者福祉施設等	（3）衛生費	5 億 8 千万円（1%）
農林道等	（4）労働費	5 億 1 千万円（1%）
湯夢湯夢の里等	（5）農林水産業費	62億 円（8%）
道路、公園、市営住宅等	（6）商工費	23億 5 千万円（3%）
防火水槽等	（7）土木費	331億 9 千万円（44%）
小中学校、給食センター等	（8）消防費	3 億 円（1%）
水道、病院事業会計への出資金等	（9）教育費	213億 2 千万円（29%）
地域総合整備資金等	（10）その他	2 億 8 千万円（1%）
教育施設、庁舎建設基金等	（有形固定資産のうち土地）	（168億 1 千万円）
特別導入貸付牛購入基金	2. 投資等（※2）	44億 7 千万円
退職手当組合積立金のうち大館市の持分相当額	（1）投資及び出資金	19億 5 千万円
市債償還のための積立金	（2）貸付金	4億 5 千万円
前年度からの繰越し現金	（3）基金	18億 6 千万円
	① 特定目的基金	9億 6 千万円
	② 土地開発基金	8億 9 千万円
	③ 定額運用基金	1 千万円
	（4）退職手当組合積立金	2億 1 千万円
	3. 流動資産（※3）	19億 3 千万円
	（1）現金・預金	14億 5 千万円
	① 財政調整基金	6億 2 千万円
	② 減価基金	3億 1 千万円
	③ 歳計現金	5億 2 千万円
	（2）未収金	4億 8 千万円
	① 市税	4億 3 千万円
	② その他	5 千万円

資 産 合 計 804億 1 千万円

貸 方

資金の調達の内容

負 債 の 部 これから負担する分

1. 固定負債	296億 2 千万円
（1）市債	252億 8 千万円
（2）債務負担行為	0 円
① 物件の購入等	0 円
② 債務保証又は損失補償	0 円
（3）退職給与引当金	43億 4 千万円
2. 流動負債	23億 8 千万円
（1）翌年度償還予定額	23億 8 千万円
（2）翌年度繰上充用金	0 円
負 債 合 計	320億 円

正味資産の部 これまでの世代で負担した分

1. 国庫支出金	117億 9 千万円
2. 県支出金	47億 4 千万円
3. 一般財源等	318億 8 千万円
正味資産合計	484億 1 千万円

負債・正味資産合計 804億 1 千万円

バランスシートは、平成17年3月31日現在、市がどのような財産を持っているのか、その財産を持つためにどのように資金を調達したかを一覧にしたものです。左側を借方（かりかた）、右側を貸方（かしかた）と言います。借方と貸方が同額になることからバランスシートと呼ばれます。

借方は、これまで取得した資産を表しています。資産は、行政サービスを提供するための財産です。

一方、貸方は、負債と正味資産を表しています。負債は、市の資産を形成するために借り入れた資金で、将来にわたり返済する必要のあるものです。正味資産は、返済を必要としない一般財源や国・県からの補助金のこと、この額が大きいほど、次の世代の負担が少ないことを意味します。

■ 資産

※1 有形固定資産
土地や建物など、長期間にわたり市民サービスに活用されるもの。

※2 投資等
将来の目的のために積み立てられた資金など。

※3 流動資産
市が持っている現金や預金、市に納めてもらうお金のうち、まだ納入されていないもの。